



区民かわら版

京都市自治記念式典

区内60名・22団体に
表彰・感謝状が贈られました

自治記念日の10月15日、京都市自治記念式典が京都会館で開催されました。明治31年10月15日、市民自らの手により市長を選任し、市役所を開庁したことによ

り、真の自治権を獲得したことを記念し、昭和33年から毎年この日に式典が開催されています。

式典では、市政の推進に貢献された方々や団体に対し、門川市長から表彰状、感謝状が贈られました。
問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)



エコ川柳を募集します

山科区は、水と緑に恵まれた歴史豊かなまちです。エコ川柳を通じて豊かな環境の保全と創造の大切さを広く訴えらるとともに、山科区を魅力溢れるまちに発展させていく機会とします。

募集内容 「ごみ減量・温暖化」など環境問題やエコに関するテーマの作品
募集期間 1月31日(月)締め切り
応募資格 山科区在住の方(応募作品は、

自作の未発表のものに限ります)
応募方法 応募川柳・氏名・住所・電話番号をご記入のうえ①FAX②郵便③持参のいずれかでご応募ください

結果発表 優秀作を決定し入賞者に直接通知します(粗品あり)
入賞作品は、広報・ピラ等に活用させていただきます。

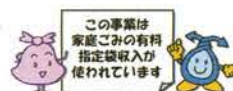
問合せ先 〒607-8168京都市山科区柳辻池尻町14-2
山科エコまちステーション(☎366-0184、FAX 366-1377)

山科区民ごみ減量エコバスツアーの参加者を募集 ごみの行方を探検しよう!

私たちの生活と切っても切り離せないごみ。暮らしに身近なごみ問題を見つめ直し、ごみ出しマナーやごみ減量に取り組むきっかけとして、ごみ処理施設の見学会を開催します。

日時 2月9日(水)午前9時～午後0時30分
集合 山科区役所前

参加費 無料。
見学先 北部クリーンセンター、北部資源リサイクルセンター
対象 山科区在住の小学生以上の方(小学生は保護者同伴に限る)
定員 30名(先着順)
申込方法 京都いつでもコール(☎661-3755)へ。12月16日(木)から受付。
問合せ先 山科エコまちステーション(☎366-0184)



みんなでつくろう！ 新しい山科区基本計画

6「10年後の山科」について

今回は、山科中学の皆さんに、「10年後、皆さんは20代。どんな山科だったらいい？」という視点からご意見を伺いました。

●こんな山科だったらいいな

- ・犯罪が少ないまちになったらいい。
- ・自分たちや両親が安心して暮らせる山科であってほしい。



- ・もっと蛍が飛ぶまちになったらいい。
- ・鮎の泳ぐ川になったらいい。
- ・山科を紹介する観光センターがあったらいい。

●課題だなと思うところ

- ・ボール遊びができる公園が少ない。
- ・夜も明るいまちがいいが、電気の無駄遣いになるという問題もある。
- ・清掃活動をもっと増やす。
- ・まちにゴミ箱がない。
- ・道路が狭い。ガードレールやカーブミラ

スポーツの秋

第22回市民スポーツフェスティバル

山科区は総合第4位

11月3日、西京極総合運動公園で第22回市民スポーツフェスティバルが開催され、山科区からはリレーやグラウンドゴルフなどに39チーム、約300人が出場されました。

成績(入賞以上)
ソフトバレーボール 優秀チーム
鏡山A、山階南A、山階南B、百々、小野A
ベタンク 優秀チーム
山階、鏡山A、鏡山B、音羽



第20回山科区民ニュースポーツ祭

11月7日に行われた各試合の結果。

グラウンドゴルフ(団体戦)
優勝 山階南
準優勝 鏡山
3位 陵ヶ岡
(個人戦)
優勝 木村 佳子さん(鏡山学区)
準優勝 西村 幸子さん(山階南学区)
3位 寺田 裕子さん(山階南学区)
ソフトバレーボール
優勝 大宅A
準優勝 山階B
3位 山階A、山階南B
優秀チーム 勸修



問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)

- ・一が少ない。
- ・路上駐車、違法駐輪が多い。
- ・鳩や野良猫が多い。
- ・空きマンションや空き家が多い。
- ・こどものころ遊んだ田んぼが減り、住宅にかわってしまった。

これまで、たくさんの方々からの意見をいただきましたが、今回は青少年の皆さん。大人が気付かない暮らしや学校生活の中で感じている課題なども積極的に述べられました。

問合せ先 区総務課企画広報担当(☎592-3066)

発掘！

山科の魅力

“ええとこ・ええもん”

第4回 山科の鉄道今昔

山科は京都の東の玄関口として、古くから交通の要衝でしたが、それは近代になっても変わることはなく、明治期に鉄道が開通すると、京都と東京を結ぶ東海道線は山科を通ることになりました。しかし、当時の路線は、現在とはまったく違う所を通っていました。

日本で初めて新橋～横浜間に鉄道が開通した1872(明治5)年から7年後の1879(明治12)年、京都～大谷(大津市)間に鉄道が開通しましたが、当時は、京都駅を

出た列車は、東へ向かわず、南へ向かっていました。現在のJR奈良線を通り、稲荷、深草から大岩街道に沿って山科へ入り、現在の名神高速道路と重なるルートで大谷へ通じていたのです。

これは、当時の土木技術では京都駅から山科へ抜けるトンネルを掘ることが難しく、山を避けて線路を敷いたためです。

当時の山科駅は現在の小野小学校の北側付近にありました。明治33年に刊行された徳富蘆花の小説



「不如帰」には、この山科駅での一場面が描かれています。1921(大正10)年に現在の東海道線が開通し、それまでの路線は廃線となりました。かつての山科駅跡には記念碑が建てられています。また、廃線跡は、名神高速道路のほか、高速道路の西を平行して走る市道小山大宅線や、小山一石畑付近の高速

道路北側にある市道小山四ノ宮線にも転用されています。

また、山科にはもう一つ廃線跡があります。平成9年に地下鉄東西線が開通した際、御陵、日ノ岡を通過していた京阪電車京津線が廃線となり、線路の跡が「陵ヶ岡みどりの径」として、区民の方に親しまれています。



「名神高速道路起工の地」花壇前で感謝状が贈呈されました。

「名神高速道路起工の地」に平成20年7月、起工50周年を記念して記念碑の設置とともに花壇が整備されました。これまで小野学区の皆さんのご協力により、年に2回の花の植え替えや水やりなどが行われてきました。この功績を称

え、10月27日に、西日本高速道路(株)から小野学区自治連合会の川井均相談役に感謝状が贈呈されました。



問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)